



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2937 回 第 40 例会
2017 年 5 月 12 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R | 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、会務報告
- P 2~3 結婚誕生祝い、Rの友5月号紹介
- P 3~4 青少年奉仕月間 熊本県警 岩下憲一郎様
ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード

点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ツッパリーダー 下田 SAA 委員長



国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 石蔵尚之プログラム委員長

来訪者紹介 本田 節 会長

熊本県警察本部 少年課 岩下憲一郎 様

会長の時間

会長 本田 節



本日は、大変嬉しいことがあります。それは熊本銀行の人吉支店長・馬氷慎哉様が新会員としてご入会されることになりました。心より歓迎いたします。馬氷支店長は地元人吉市出身であります。後ほど推薦者の堤正博会員より詳しくご紹介をさせていただきますが、ゴルフの腕前はプロ級というお話しであります。馬氷支店長に

おかれましては交流と親睦を重ねられ、益々のご活躍を祈念し一緒にロータリーライフを楽しみましょう。

さて、4月16日熊本市熊本県民交流会館パレアにおいて、職業奉仕研修セミナーが開催されました。高山泰四郎ガバナーエレクト、職業奉仕研修委員長が職業奉仕に対する基本的方針でもある「4つのテスト」はどのようにして生まれたのかという講話からスタートしました。

創案者のハーバート・テラー氏は1954年から55年度RI会長で、シカゴのロータリークラブ会員でありました。彼は1932年(39歳)の時、倒産寸前の会社再建を任された時、その1つの方策として従業員のモラル向上の方法として、“言行はこれに照らしてから”の「4つのテスト」を作りました。以来、創案は改変され現在の4つのテストをRIでは職業奉仕に相応しい職業倫理訓として認めています。ロータリアンの「行動指針」として奉仕部門全てにおいて、なくてはならないものと考えられるようになったということでもあります。是非、ハーバート・テラー氏の「我が自叙伝」は氏の感動的な人生と「職業奉仕の神髄」が書かれているということで、ロータリアンの皆様には是非読んでいただきたい素晴らしい著であるとお話しがありました。私も是非購読してみたいと思っております。

また、職業奉仕部門長の大森克磨氏はロータリーの第二の標語“最もよく奉仕するもの、最も多く報われる”と題し講話されました。この標語がなぜ金看板と言われるかを説かれました。ロータリーの創始者であるポール・ハリスの語録の中に「社会に役立つ人間になる方法は色々ありますが、最も身近でしばしば最も効果的な方法は間違いなく自分の職業の中にあります」とあります。ロータリーは社会貢献を活動の1つとする団体であります。ポール・ハリスはロータリアンがそれぞれの職業を全力で務めることが社会貢献の最も身近で効果的な方法

であると述べているとお話しされました。

本日は2016～2017年度優良職員表彰式がありますが、9事業所から推薦された12名の皆様こそそれぞれの職業を全力で務められていることが社会貢献として素晴らしいということと重なると思います。皆様には後ほど表彰状と記念品を贈呈させていただきます。

日頃より誠心誠意職務に専念され、企業発展の為に尽力いただいていることに心より敬意を表し皆様方の益々のご健勝をご祈念し、お祝いの言葉としたいと思っております。ご尽力いただいた会員の皆様を始め、職業奉仕委員長の小林祐介会員や副委員長の前田知一郎会員には大変お世話になりありがとうございます。

幹事報告

幹事 葉山稔洋

- ・人吉市みどり推進協議会の通常総会の案内が届いておりますので本田会長にお渡し致します。
- ・2020年日本のロータリー100周年に関するアンケート協力のお願いが届いておりますので片岡ガバナー補佐にお渡し致します。
- ・2018-19年度地区委員会部門長選任承諾のお願いが届いております内容は中川会員を選任したいとの事です。
- ・水俣RCより5/2の例会取り止め
- ・八代東RC5/19の例会変更のお知らせが来ております。

掲示板に貼っておきますので確認ください。

出席率報告

副委員長 川越公弘

会 員 数	63名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	89.83%	
欠 席 者 数	6名	4 / 2 1 出席率	81.03%
出 席 者 数	53名	補 填 数	2名
免除会員出席者数	1名	修 正 出 席 率	84.48%

*届け出欠席 友永・川越・村山・青木・外山・堀川

*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 釜田, 齊藤

*メイクアップ

人吉RAC例会; 平田 クリーン人吉; 宮崎

【親睦委員会】

副委員 尾上暢浩

5月の誕生祝い

平田 フク 9日 下田 文仁 31日



5月の結婚記念祝い

井手 富浩 3日 渡辺 洋文 6日
 岡 啓嗣郎 15日 中川 貴夫 18日
 原田 知一郎 22日 村山 能史 28日

【雑誌委員会】

ロータリーの友5月号の紹介

下田文仁会員

表紙の写真は何を意味しているんだろうと思い、東京のロータリーの友事務所に電話して聞いてみました。

この写真は、おそらく、「平和フェロー」ではないかとのことでした。平和構築の分野のキャリアを志す若者が、毎年、世界中から最高で100人選ばれ、奨学金を得て、ロータリー平和センター提携大学で学びます。創設から10年あまり、ロータリー平和センターで学んだ人は1,000人以上。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根のNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しているそうです。

・横組み

5月は青少年奉仕月間ということで、青少年奉仕に関する記事がたくさん掲載されています。

39ページ。2720地区の前田眞美ガバナーの言葉が掲載されています。2005年にロータリーが100周年を迎えたのを契機に、ロータリーのシステムは大きく変わり始めたこと。その中に「四大奉仕から五大奉仕」に変わったことも挙げられています。

7ページから、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」(RYLAライラ)の紹介がされています。RYLAについては、12ページに説明があるので読んでください。8ページ以降に、各地区のRYLAの活動が報告されています。

9ページには2720地区の報告もあります。

2720地区にも青少年奉仕部門として、ローターアクト委員会などと並んでRYLA委員会が設けられており、昨年9月にその委員会で行った活動が紹介されています。

昨年9月に行われた事業では危機管理の面からリーダーとしても心構えを学んだそうです。参加した人(ライラリアン)の中から4人がその後、ローターアクトに入会し、会員増強にもつながっているようです。

【青少年奉仕委員会】 委員長 漆野智康

青少年奉仕月間卓話

講師紹介 堤 正博 会員

熊本県警察本部 少年課
少年サポートセンター
係長 警部補 岩下憲一郎様



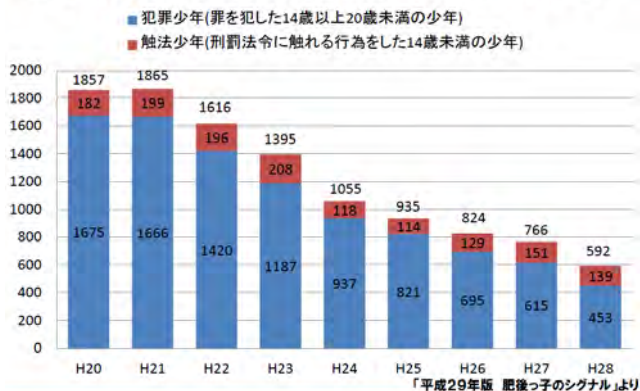
略歴

- ・平成18年4月 熊本県警察官を拝命
- ・平成23年4月 牛深警察署刑事生活安全課生活安全係として勤務(以降6年間、生活安全部門で勤務)
- ・平成24年4月から平成27年3月までの3年間、サイバー犯罪対策課特捜係で勤務
- ・平成27年4月から平成29年3月までの2年間、宇城署生活安全課少年係で勤務
- ・本年4月から少年課少年サポートセンター係で勤務

青少年に関する問題

県下の非行情勢

県下の刑法犯少年の検挙状況 (H20~H28)



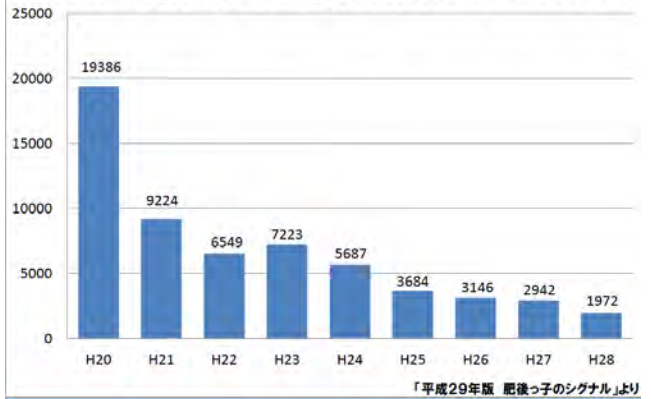
刑法犯少年は平成21年から7年連続で減少、平成28年中の刑法犯少年は592人で、前年に比べて174人(22.7%)減少している。

- その理由として、
- ・少年人口の減少

- ・生活スタイル 遊びの変化
- ・地域、ボランティア活動の効果

県下の不良行為少年の補導状況

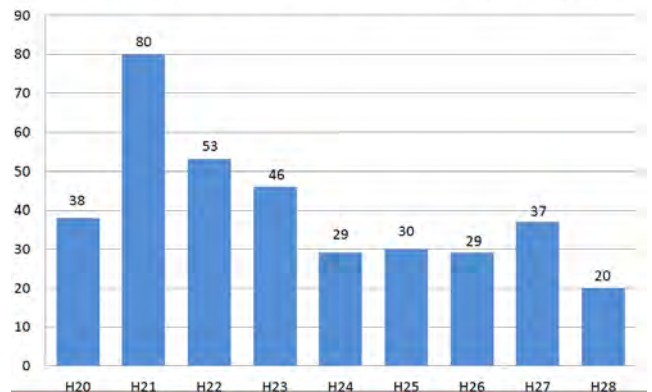
県下の不良行為少年の補導状況 (H20~H28)



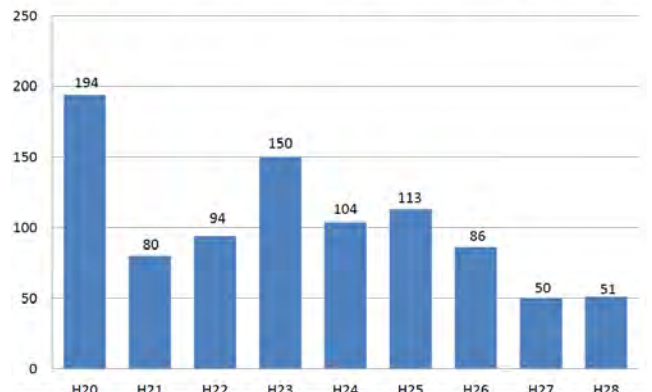
主な行為として飲酒、喫煙、怠学など。平成28年は1972人、前年の2942人に比べて970人(33.0%)の減少。

人吉警察署管内でも平成21年の80人から1/4減少している。不良行為少年についても右肩下がりとなってきている。

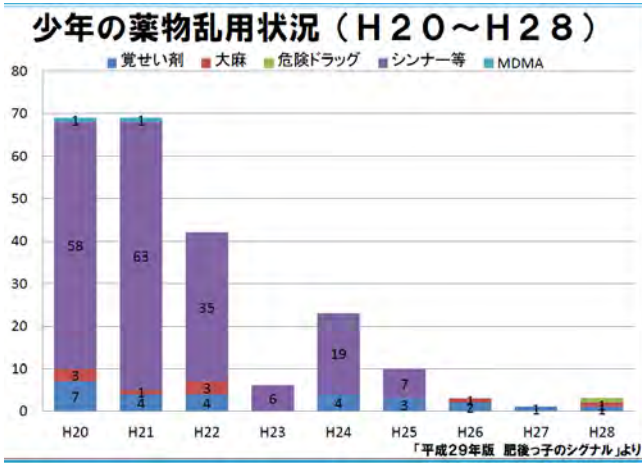
人吉警察署における刑法犯少年の検挙状況 (H20~H28)



人吉警察署における不良行為少年の補導状況 (H20~H28)



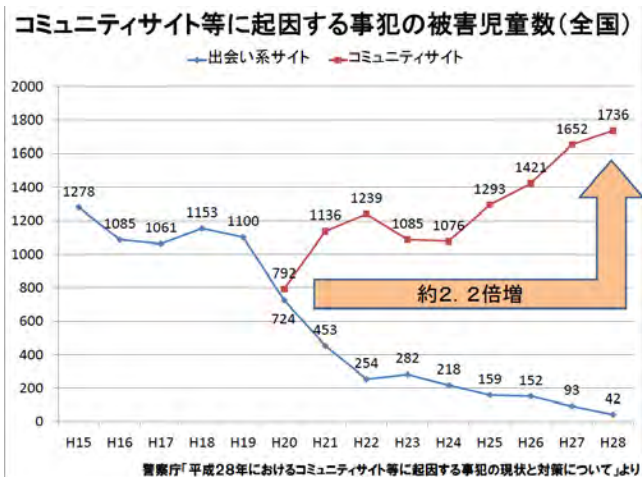
少年の薬物乱用状況



平成28年の薬物乱用少年は3人、前年に比べて2人増加。区分では覚せい剤1人、大麻1人、危険ドラッグ1人。平成20年多くがシンナーであったが流行なくなったことから平成26年からは検挙0となっている。減少の理由として、

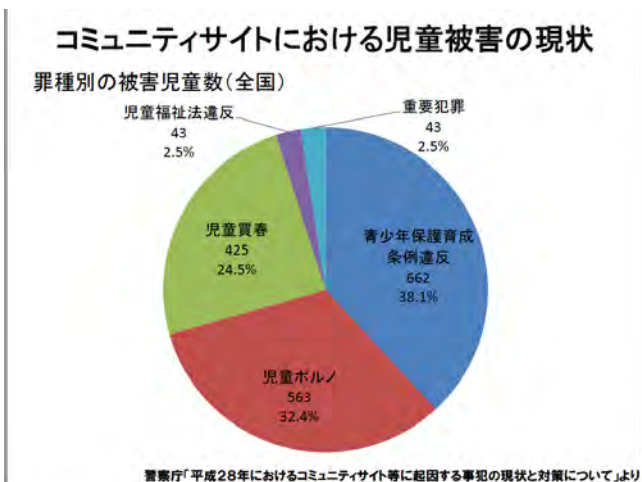
- ・警察による薬物乱用防止講話
脳に与える影響、乱用の恐ろしさを伝える
- ・地域の薬物乱用防止啓発活動

インターネット利用による犯罪被害



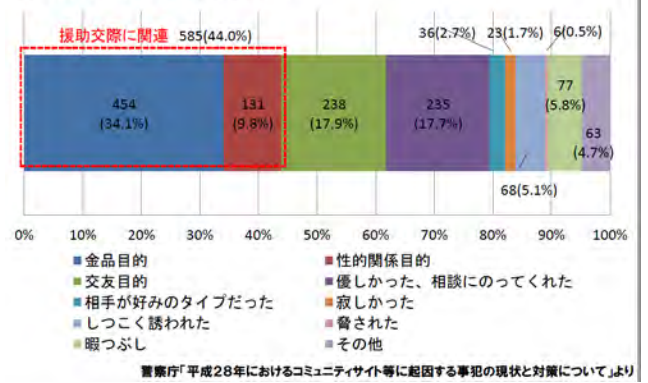
※コミュニティサイトとは

出会い系サイトの要因を満たしていないSNS(交流サイト)、掲示板、ブログ(日記)、ゲームサイト、無料通話アプリなどの総称。



コミュニティサイトにおける児童被害の現状

被害児童が被疑者と会った理由



犯罪被害防止対策

- ・フィルタリングを利用する
平成28年の状況 → 利用率 88.2%
- ・家庭で使用ルールを作る
利用状況を把握し、危険性を理解する。
ネットを正しく使うように子供としっかり向き合う。
- ・警察による「サイバー補導」
インターネットに起因した犯罪から守るため児童が援助交際を求めるなどの不適切な書き込みを発見した際、交信を行い、子供と直接会って注意・指導する。

最後に、

被害を防止するためには、ロータリークラブの青少年月間で取組まれているように、家庭、職場、関係団体のご理解とご協力が必要です。今後も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

【寄付カード】 ニコニコ箱委員長 竹長一幸 (ニコニコ箱委員会)

- ・堤正博会員 県警の岩下憲一郎さん卓話ありがとうございます。お忙しい中に熊本の県警本部からおいで頂きました。これからも活躍いただきますよう期待しています。
- ・漆野会員 岩下様、卓話ありがとうございます。我が家にも3人の子供がいますので健全な家庭を作るようにします。
- ・馬水会員 ローターアクト熊本銀行人吉子店より萩尾が入会させて頂きました。馬氷共々よろしくお祈りします。
- ・原田会員 結婚記念品有難うございました。
- ・平田会員 ?才の誕生祝いをしていただきありがとうございます。年齢は捨てていきたいです。

点 鐘 本 田 節 会 長